

## 巳年はお種弁天で初詣



平成25年元日、蛇の化身である「お種さん」を祭った多鯨ケ池弁天宮（福部町湯山）には、巳年を機にこの神社のご利益を預かろうと、市内外からたくさんの方が初詣に訪れました。好天に恵まれたこの日は、朝からたくさんの方が参道に列を作り、家内安全や学業成就などをお祈りしていきました。中には、蛇の大好物であるたまごをお供えする人も。参拝客は、お種さんが眠る多鯨ケ池の美しい景観を眺めながら、おみくじを引いて一年を占ったり、金運アップのため蛇の抜け殻入りのお守りを買ったりと、それぞれの初詣を楽しみました。

12年に1度のこの機会に、地元住民の有志が多鯨ケ池弁天宮おもてなし実行委員会を組織し、参拝客にゆでたまごや煎餅などの記念品と温かい甘酒を振るまいました。

また、委員会のメンバーが弁財天とお種さんを並べたオリジナルの砂像を制作。訪れた人たちの目を楽しませ、多鯨ケ池弁天宮により一層のにぎわいを生み出しました。



※シリーズ「元気です」で実行委員会の取り組みを紹介しています。

# とっとり市報

2013年2月号 第1030号

## 目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 古澤 巖 さん	P3
特別対談 郷土のために漫画ができること	P4-7
特集 人が集える空間づくりを	P8
市庁舎整備のこれからの取り組み	P9
市職員の給与などの状況をお知らせします。	P10
シリーズ @じんけん	P11
シリーズ 元気です 多鯨ケ池弁天宮おもてなし実行委員会	P12-13
まちかどアルバム	P14-15
健康・病院	P16-17
ピックアップインフォメーション	P18-21
市営住宅入居者募集	P18
祝日のごみ収集（鳥取地域）	P19
介護保険にかかる税金の控除について	P21
など	
情報ひろば	P22-28
福祉（除雪応援隊の派遣、高齢社会課からのお知らせ など）	P22
お知らせ（むらづくりシンポジウム、第6回鳥取市地産地消フェアなど）	P22-
募集（鳥取市文化センター文化活動ブース利用団体 など）	P24-
市民伝言板	P26
など	
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

## PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1030

### 鳥取市の人口

男	： 94,084人	[-41]
女	： 101,164人	[-75]
合計	： 195,248人	[-116]
世帯数	： 77,580	[-16]

平成25年1月1日現在 [ ] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

### 鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)

FAX 0857-20-3040

〒680-8571

（郵便物は郵便番号と課名のみで届きます）

本庁舎 尚徳町116番地

第二庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

### 鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

### ホームページ抜粋版

（携帯電話対応アドレス）

<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

### 電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

### 各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555

福部 TEL 0857-75-2811

河原 TEL 0858-76-3111

用瀬 TEL 0858-87-2111

佐治 TEL 0858-88-0211

気高 TEL 0857-82-0011

鹿野 TEL 0857-84-2011

青谷 TEL 0857-85-0011

### 編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

TEL 0857-20-3132

発行／平成25年2月1日

印刷／株式会社鳥取平版社

### 来て良かったという大学づくりを目指す

#### 公立化で学生が活発に

**市長** 鳥取環境大学は昨年4月に公立大学となりました。1年近く経過しますが、どの様な変化がありましたでしょうか。

**古澤** 公立大学への移行と同時に、環境学部と経営学部の2学部を設置しました。環境学部は県外出身の学生が多いですが、経営学部は、比較的県内や近県出身の学生が多いようです。教員からは学生が非常に活発になったという声を聞きます。公立大学の学生としての自覚が大学全体に影響しているようです。また、休学者が減少したことも変化の一つと言えます。昨年開設した英語村は、本当に評判が良く、毎日40人くらい来てくれます。地域から一般の方も必ずいらつしゃいます。今年の5月までには、スペースを少し広げ、グレードアップするつもりです。

#### 地域連携の事業に取り組む

**市長** 環境大学には地域への貢献を期待しています。取り組みを伺います。

**古澤** 今年、文部科学省の補助金による大きな事業が3つ動く予定です。1つ目は、産業界のニーズに対応した教育改革事業です。中四国の大学が連携して、カリキュラム開発などを行います。2つ目は、大学と地域社会を結ぶソーシャルライニングです。山陰の5大学が連携して、

鳥取と鳥根という豊かな文化的資産に恵まれた地域社会と協働することにより、教養教育のフィールドとして再開発していくというものです。あと1つは、センター・オブ・コミュニティ。大学が地域と連携して教育・研究・社会貢献を進めていく事業で、これにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**市長** 産業界や地域社会との連携を深め、是非大きな成果を上げていただきたいと思えます。

#### 就職に向けた取り組み

**市長** 学生の就職は今後の大きな課題だと考えますが、大学の取り組みを紹介いただけますか。

**古澤** 今年の就職率は90%を超えると思います。公立化と同時に、ダブルスクールの充実し、TOEICや簿記講座には多くの学生が受講しています。企業との懇談会も東京や大阪などで開催しました。

**市長** 鳥取市の相談窓口では就職先の紹介や、卒業生の市内就職に対し奨励金を交付しています。最後に、鳥取環境大学を目指そうという人に一言お願いします。

**古澤** 本学は自然環境と経済発展の両立、また、そのようなバランス感覚を持った人材育成という大きなテーマを持っています。「この大学に来て良かった。」という大学づくりを目指しています。

非楽しみにしていただきたいと思えます。  
**市長** 新しい時代に求められる知識や経験を身につけようと考えている「志のある学生」にたくさん入学してもらいたいですね。

※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。

□対談者 公立大学法人 鳥取環境大学

理事長・学長 古澤 巖

□場 所 鳥取環境大学

□対談日 平成24年12月25日(火)

